

# 職業リハ学会通信

NO.167 2021年 9月発行

学会大会

## 第 48 回愛知大会

8月27日(金)～28日(土)オンライン開催！

皆さま、ご協力ありがとうございました

初めてのオンライン開催であった第48回愛知大会ですが、この度無事に終えることができました！本当にありがとうございました。

ライブ配信は2021年8月27日(金)・28日(土)、オンデマンド配信は2021年8月27日(金)～9月11日(土)で開催しました。最終的には合計311名(会員168名・非会員143名)の方々にご参加いただきました。大会テーマである「職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える～これからの10年を目指して～」にふさわしい新たな時代を感じさせる大会で、オンラインながらも様々な発表と討論がなされたのではないかと考えています。

改めまして今回共催いただきました愛知県立大学の関係者の皆様、ご後援いただきました関係機関・団体の皆様、大会の開催に向けて3年近くご尽力いただいた実行委員の皆様、そして、学会員及び本大会に参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

また、事前申込みから当日の運営に至るまで様々な不手際があり、多大なるご迷惑をおかけしたことについて、改めてお詫び申し上げます。

本大会のプログラムは、基調対談、国際シンポジウム、大会主催ワークショップ5本、自主ワークショップ7本、口頭発表39本、オンライン交流会等、数多くの企画が執り行われましたが、ここではライブ配信を中心に当日の様子等を簡単にご報告したいと思います。

### 【基調対談】

最初に、大曾根大会長(放送大学)から「働き方改革」について、障害、傷病、若年、女性、高齢など支援の必要な方々の雇用・職業生活への影響について問題提起がされました。続いて高橋先生(立正大学)より労働法学の立場から、「働き方改革」の歴史的背景、根拠となる法律および判例、改革の特徴、障害者福祉・雇用への影響、有効性と限界などについてご講演いただき、職業リハビリテーションに従事する支援者の働き方についても様々な問題提起をしていただきました。

更に、大曾根大会長から、ILO190号条約(ハラスメント撤廃条約、2019年6月採択)などを踏まえて、今後の課題と方向性についてご示唆いただき、その後、お二方の対談形式で、「働き方改革」の進展の状況を確認するとともに、残された政策的・立法的課題を明らかにし、職業リハビリテーション支援の実践がどうあるべきかについて議論いただきました。最後はQ&Aに寄せられた質問に、時間の許す限り丁寧にご回答いただき、多少なりとも参加者とのキャッチボールができたのではないかと思います。

### 【大会主催ワークショップ①：企業在籍型ジョブコーチの実態と働き方改革】

本ワークショップは、愛知県内の企業在籍型ジョブコーチの栗谷さん・(ブリヂストンチャレンジド株